

あしきた町議会だより

あしきた



発行／熊本県芦北町議会 編集／議会広報特別委員会 TEL(0966)82-2511 FAX(0966)82-2894



芦北町グラウンド・ゴルフチャンピオン大会 (5月15日・岩崎グラウンド)

- 3月定例会・町長施政方針(要約) P 2～3
- 臨時会(1月21日)(4月25日) P 4
- 総務常任委員長報告 P 5
- 建設経済常任委員長報告 P 6
- 文教厚生常任委員長報告 P 7
- 一般質問 P 8～11
- 議会のうごき・編集後記 P 12

3月定例会



3月定例会は、3月4日に招集され、18日までの15日間の会期で開催した。

上程された議案は、平成23年度当初予算をはじめ、平成22年度一般会計補正予算、各特別会計補正予算、芦北町収入印紙等購入基金条例の制定ならびに条例の一部改正など23議案で、平成23年度一般会計予算については、賛成多数で可決し、他の議案については、全会一致で原案どおり可決した。また、町道認定に関する陳情1件は全会一致で不採択とした。

一般質問には、4議員が登壇し、町執行部の考えを問いただした。

町長の施政方針（要約）



◎社会情勢と芦北町の状況

平成17年1月に新「芦北町」が誕生してから丸6年が経過しました。これまで、「人にやさしい政治」をモットーに「安全・安心」のまちづくりを目指し、町民の皆様からの助言や提言等を政策に反映し、地域間競争に打ち勝つ足腰の強い魅力ある町づくりを推進してまいりました。本町においては、これまでの行政改革の取り組みを継続しながら、必要な事業については、効率的かつ重点的な実施に努め、健全財政を堅持するとともに、中長期的な視野に立った財政運営を推進してまいりました。

◎まちづくりの基本方針

芦北町のまちづくりは、芦北町総合計画において「個性の光る活力あるまちづくり」を基本理念とし、「すべては21世紀を担う子供たちのために」をテーマに郷土愛を育み、誇ることのできるまちづくりを実現するため、6つの目標を掲げ、各種施策を展開しております。(1)魅力的な地域づくりについて(地域づくり)(2)人にやさしい快適なまちづくりについて(生活・福祉)(3)生きがいある働き場づくりについて(経済・産業)(4)豊かな心の人づくりについて(教育・文化・国際交流)(5)生活を支える基盤づくりについて(基盤整備)(6)効率的な行政組織づくりについて(行政組織)であります。

◎具体的な取り組みについて

平成23年度の財源の主なものとして申し上げます。町民税は平成22年度当初予算より、3、125万4千円の減額を見込み、固定資産税については、

対前年比6,082万9千円の増額を見込んでおります。地方交付税は、0.7%減の43億7,000万円を見込んでおります。

歳出の普通建設事業費で主なものは、環境・福祉モデル地域づくり推進事業として、(仮称)女島活力推進センター建設を平成23年度に着工し、平成24年度の完成を目指します。また、防犯・防災対策では、犯罪を未然に防ぎ、併せて災害時の初動体制を強化するため、関係機関との連携を強化する中で、安全・安心なまちづくりに努めます。

◎結び

今後も厳しい財政状況が予想される中で、いかに質の高いサービスを提供できるかを主眼に置き、行政運営を行ってまいります。

なにとぞ、ご理解ご協力を賜りますように、心からお願いを申し上げます。

平成23年度 当初予算を原案可決 160億8,528万円

(数字については1万円未満を削除)

各会計の予算額

一	般	会	計	97億6,400万円			
特 別 会 計	国	民	健	康	保	険	33億2,970万円
	介	護	保	険	19億3,730万円		
	簡	易	水	道	7,620万円		
	農	業	集	落	排	水	2億1,820万円
	生	活	排	水	処	理	5,730万円
	町	有	温	泉	1億1,250万円		
	奨	学	資	金	貸	付	2,870万円
	後	期	高	齢	者	医	療
公	営	企	業	(水	道)	3億918万円	
合	計	160億8,528万円					

一般会計の予算規模は
前年対比3.3%増

平成22年度3月補正予算(一般会計)

3億8,497万円を追加

(数字については1万円未満を削除)

会計名	補正額	会計総額
一般会計	3億8,497万円増	109億262万円
国民健康保険	1億7,554万円増	34億4,533万円
介護保険	2,000万円増	19億532万円
町有温泉	778万円増	1億1,452万円

主な質疑

一般会計当初予算

質 政府与党のマニフェストに揚げてい

る、政策の中で、目玉と称して、今国会でも議論がなされている子ども手当が予算計上されている。この子ども手当に対する町長の見解を聞きたい。

答 町長

子ども手当については、それぞれ評価が分かれているようであるが、国の方針であるので、本町としては、肅々とその方針に従って予算措置を進めていく。

質

急傾斜地崩壊対策事業を今後やらなければいけない地域は、どのくらいあるか。

答 建設課長

必要とされるところは、10ヶ所以上あると考えている。ただ負担もあることから、平成23年度で6ヶ所である。

質

湯浦出張所としての機能を効率よく、また適正に行うために300万円の予算措置がなされているが、具体的な内容は。

答 総務課長

今回は、出張所業務の受付と温泉の受付入りを2ヶ所に分け、それぞれ別々のカウンターで事務処理を行う計画である。



湯浦出張所の受付業務

質

インフルエンザ予防接種補助の増額ということであるが、芦北町管内の現在の状況は。

答 住民生活課長

水俣保健所管内で106人の報告があつている。

第1回臨時議会

～可決した補正予算～

(数字については1万円未満を削除)

会計名	補正額(増減)	補正後の総額
一般会計	6億3,783万円増	105億1,764万円
国民健康保険特別会計	700万円増	6,627万円

◎補正予算の主な内容(一般会計)

芦北町大迫住宅連絡支援事業補助金	360万円
漁港海岸消波ブロック設置工事	1,330万円
観光うたせレディース船整備補助金	1,000万円
向町地区配水対策工事	1,779万円
学校給食施設費	5億4,699万円

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



石井 忠也氏
(花岡)



福山 功敏氏
(高岡)



濱崎 猛氏
(田浦町)

答 町長

国の経済対策に伴った事業であり、これは前倒し事業の典型的な例でありますけれども、予算措置上、このような形をとりましたが、今後一応の流れについて、当該委員会に説明しながら進めてまいりますので御理解をいただきました。

質

学校給食整備事業について、5億4,000万円余りの補正予算が提出されているが、内容説明がないままに唐突に出されても納得できないが、町長の考えを聞きたい。

答 町長

平成16年芦北町告示第36号で芦北町観光うたせレディース船整備事業補助金要綱に基づいて補助を行っている。(芦北町漁業協同組合が所有する組織・個人の上限は200万円。)

主な質疑

「一般会計補正予算」

質

観光うたせ船レディース船に補助金1,000万円を補助する根拠は何か。

教育委員会委員の任命に同意



竹浦 裕道氏

平成23年第1回臨時議会を1月21日に開催した。上程された議案は、平成22年度芦北町一般会計補正予算外1件で審議の結果、全会一致で原案どおり可決した。また、教育委員会委員の任命と固定資産評価審査委員会委員の選任についても全会一致で同意した。

第3回臨時議会

平成23年4月25日に今年3回目の議会が開催されました。

議案は、平成23年度一般会計補正予算と国民健康保険税条例の一部改正の専決処分承認を求める案件について、審議の結果、全会一致で、審議の結果、全会一致で原案どおり承認し、教育委員会委員の任命についても全会一致で同意した。

教育委員会委員の任命に同意



渋谷 百錬氏

特産品開発事業(温泉塩)で佐賀大学と連携

本委員会に付託されました案件は、予算関係1議案、条例関係1議案でございます。まず、条例の審査から申し上げます。

おり、地方交付税は、0.7%減の43億7,000万円が見込まれております。

【田浦基幹支所】

空調機の故障により、エアコン設置工事費増及び施設警備委託料を総務費から基幹支所費へ予算組み替えにより、増額予算となっております。

主な質疑として、必要経費等減額の要因は、との質疑に対し施設管理の大きな修繕が終わっているためとの答弁がありました。

【議事事務局】

議員年金制度の改正により共済費が3,348万1千円の増額となっております。

議案第17号「芦北町収入印紙等購入基金条例の制定について」の審査を申し上げます。この条例は、県から事務及び権限が移譲される旅券(パスポート)申請受付及び交付等に関する事務を円滑かつ効率的に行うため基金を設置する条例を制定するものであるとの説明がありました。

議案第7号「平成23年度芦北町一般会計予算」について申し上げます。

平成23年度の一般会計予算総額は前年比3.3%増の97億6,400万円となっております。

【企画財政課】

新たに国際交流員活用事業、特産品開発調査事業(製塩)等が予算計上されており、また、肥薩おれんじ鉄道佐敷駅跨線橋整備事業、地方バス運行対策支援事業及び結婚支援事業等が引き続き計上されております。

主な質疑として、特産品開発調査事業(製塩)について今後の計画はどうなっているかとの質疑に対し、本年度は、ふるさとづくり基金を活用して、品質向上のための試作及び研究に取り組んできた。

平成23年度については、62万円を計上し、さらに佐賀大学と連携し研究を進める予定であるとの答弁がありました。

また、川辺川ダム建設促進協議会負担金については、今の段階でも事業促進する目的で予算計上しているのかとの質疑に対し、協議会の事業計画は、川辺川ダム建設促進ではなく、治水対策等の要望活動を柱とした事業である。建設促進に係る協議会の名称変更については、五木村振興対策、治水対策が進んでいない状況であり、特別措置法等の整備が整った後、総会を開催

することとなっている。協議会としては、対策が決まるまで当分の間はこの名称でいくことで決定しているとの答弁がありました。

質疑終了後、川辺川ダム建設促進協議会負担金について反対及び賛成の討論があり、起立による採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決することに決しました。

【総務課】

主な質疑として、選挙費で選挙看板の撤去費が計上しているかとの質疑に対し、設置費は平成22年度で計上してある。県からの補助金が、平成22年度と平成23年度に分けて計上してあるとの答弁がありました。

また、新幹線が全線開業するが、総務課としては今後に向けてどう考えているのかとの質疑に対し、町のPRを積極的に行っていくべきと考えている。町のPR用パンフレットの予算を計上し、葦北鉄砲隊が演武に出かける時にお願する計画であるとの答弁がありました。

質疑終了後、町長交際費について反対及び賛成の討論があり、起立による採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決することに決しました。

【税務課】

個人町民税について、給与所得、営業所得、農業所得の低迷により減額予算計上、法人町民税は、本町主要企業の比較的順調な回復により増額予算計上であるとの説明がありました。主な質疑として固定資産税が6千万円ほど増加しているが、理由はなにかとの質疑に対し、課税免除期間の3年を終了し、課税となった税額が4,976万7千円と、新築家屋の新規課税となった税額が1,052万2千円であり、これが増額分であるとの答弁がありました。

以上が論議されました主な内容であります。議案第7号「平成23年度芦北町一般会計予算」につきましては、原案のとおり可決することに決しました。



委員会審査中の総務常任委員会

御立岬公園・御立岬温泉センターを直営方式で

予算関係6議案について、審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

議案第7号「平成23年度芦北町一般会計予算」について申し上げます。

【建設課】

平成20年度から約8億円を投じ整備を行ってきた湯北地区浸水対策事業が最終年度を迎えるなどの主要事業の説明があり、委員から、松ヶ崎海水浴場の今後の計画はという質疑に対し、平成24年度に町へ移管される予定で、23年度は県に対して施設の修繕等の依頼をしているとの答弁がありました。また、移管に向けて検討委員会を立ち上げ予定であるとのことでした。

【上下水道課】

飲料水供給施設事業費補助金について、今回の交付予定地区は2回目ではないかとの質疑に対し、平成14年度に補助を行っていたが、現在、石灰成分が多量に含まれ水質が悪化しているため、新たにポリリングを行うとの答弁が

ありました。

【商工観光課】

平成23年度から御立岬公園及び御立岬温泉センターを直営方式にするなどの主要事業の説明があり、委員から、芦北浜浜総合公園植栽整備工事の事業内容及び狙いはとの質疑に対し、花公園を整備するための第1期工事として、リフト下に芝桜を740㎡程度植栽する予定であり、冬から春にかけての入込客増に繋げたいとの答弁がありました。

【農業委員会】

果樹園の放任園を転用する際、手続きの簡略化はできないかとの質疑に対し、農業委員が審査を行い復元不可能と判断した農地は、非農地としての取扱いが可能であるとの答弁がありました。

【農林水産課】

芦北地区排水対策事業負担金や牛の水漁港の道路改修工事等により、平成22年度対比約1億5千万円増であるとの説明があり、委員から、町有

林の管理人が高齢になっていくが今後の対応はとの質疑に対し、下刈り、間伐などの作業量が減少して、22年度の退職者については補充をしていないが、現行制度は維持しつつ、今後、検討するとの答弁がありました。

議案第7号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第10号「平成23年度芦北町簡易水道事業特別会計予算」について申し上げます。

平成23年度は、海浦地区の水源地能力低下を補うために、上水道から水補給を検討するための計画設計業務等を行うなどの説明があり、委員から、海浦地区の今後はとの質疑に対し、上水道との平成27年度統合に向け計画を策定中であるとの答弁がありました。

議案第10号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第11号「平成23年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算」について申し上げます。

議案第11号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第12号「平成23年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算」について申し上げます。

平成23年度も維持管理を中心とした予算計上であるとの説明があり、委員から、法定検査の回数は何回かとの質疑に対し、年1回実施しているとの答弁がありました。

議案第12号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

す。

主な質疑として、加入率の状況はどうかとの質疑に対し、各世帯への接続率は、全体で約70%で、平成22年度で18件の新規加入があり、引き続き加入促進に努めるとの答弁がありました。

議案第11号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第12号「平成23年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算」について申し上げます。

平成23年度も維持管理を中心とした予算計上であるとの説明があり、委員から、法定検査の回数は何回かとの質疑に対し、年1回実施しているとの答弁がありました。

議案第12号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第13号「平成23年度芦北町有温泉事業特別会計予算」について申し上げます。

平成23年度は、新規事業の湯浦温泉センター改築工事基本設計業務委託などにより、前年対比6百6十萬円の増額であるとの説明があり、委員から、湯浦温泉の改築に踏み切った理由はとの質疑に対し、施設が築50年経っており、

床・天井など傷みが激しいためであるとの答弁がありました。

議案第13号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第16号「平成23年度芦北町水道事業会計予算」について申し上げます。

平成23年度は、城山配水池築造にかかる造成費を予算計上するなどの説明があり、委員から、造成工事の安全対策はどうかとの質疑に対し、残土処理を行う際の道路の対応など、各関係機関と連携をとりながら万全を期するとの答弁がありました。また、耐震化で災害対応型配水池を平成24年度に築造計画であるとのことでした。

議案第16号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。



現地調査中の建設経済常任委員会

(仮称)女島活力推進センター建設に着手

本委員会に付託されました案件は、予算関係5議案でございます。

議案第7号、「平成23年度 芦北町一般会計予算」について、審査課程において説明、論議された主なものについて申し上げます。

【福祉課】

民生費予算総額は、前年比約5パーセントの増となっております。我が国の福祉を取り巻く環境は、大きく変化し、子ども手当や障害者自立支援法の見直し等で、本庁も厳しい財政状況の中、4月1日の老人ホームの完全民間移譲などの積極的な支援策が図られております。

学童保育や老人無料入浴券、高齢者に対する福祉関係の補助金、児童手当と子ども手当等についての質疑に対し、それぞれに詳細に答弁がありました。

【住民生活課】

芦北町の狂犬病予防注射については毎年行っているが、23年度は、約1,400頭の登録に対し、83パーセント分を計上しており、例年、受診率は近隣市町と比較すると大変高い数値を示しております。

（仮称）女島活力推進センターの建設にかかる進捗状況について、本年度から工事にかかり、平成24年7月から8月にかけて完成する予定であるという答弁でした。子宮頸がんワクチンの予防接種、副反応の情報を確認したところ、県内での報告はあつていないという答弁でした。

【教育課】

23年度から小学校の新学期指導要領が実施される中で、教科書の採択について質疑したところ、先生が研究調査委員となり、調査した結果を選定委員が選定し、採択協議会で決定するというところで、さらに1市2町では同じ教科書を使用し、決定次第、社教センターに展示されるというところでした。また、平成24年度からの武道必修化に伴い、23年度から空手道の導入と、論語教育の予算についても説明がありました。

学校統廃合については、計石小が24年度統廃合に向けて準備を始めるという説明でした。

【生涯学習課】

芦北町教育理念「温故創新」に基づき、生涯学習事業の充実を図るため、各種事業を計

画され、文化振興事業や体育振興の予算が計上されており、委員からは、総合型地域スポーツクラブの現状や岩崎グラウンドの管理委託、町体協の区割り等について質疑があり、総合型地域スポーツクラブについては、5クラブ、10教室で運営されているというところ、岩崎グラウンドの管理については、グラウンドゴルフ協会田浦支部に委託し、体協の区割りについては再編委員会での議論中であるとの答弁でした。

また、花岡地区埋蔵文化財関係で、予算が増額されているが、今後も続くのかという質疑に対し、平成19年度で出土したものを平成23年度で1,000点の報告書をつくる予算であるという答弁でした。

更に、星野富弘美術館の運営については、質疑には、23年度は、専門委員会を設置して協議していくとの答弁でした。

議案第7号、平成23年度一般会計予算については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第8号「平成23年度 北町国民健康保険事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑は、吉尾診療所の患者数の見込みと温泉を活用した療養型診療所設置の質疑に対しては、地域内の人口減少と診療体制の変更等により、患者数が10パーセント程度の減ということ、新たな委員会での検討したいという答弁でした。

議案第8号については、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第9号「平成23年度 北町介護保険事業特別会計予算」について申し上げます。予算総額は、19億3,730万円、22年度より5,800万円の増となります。増額の主な理由として、地域密着型介護サービス給付費にかかるとして、有料老人ホーム1施設の4月からの事業開始や介護給付適正化事業にかかる臨時事務職員雇用に伴うものであります。

議案第9号については、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第14号「平成23年度 北町奨学金貸付事業特別会計予算」について申し上げます。予算総額は、2,870万円、対前年度比540万円の増となっております。

借り入れる人が大変少ないようだが、貸付金額には問題はないかという質疑に対し、金額については、自宅通学かどうか、公立か私立かということもあり、検討したいとの

答弁でした。議案第14号については、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第15号「平成23年度 北町後期高齢者医療事業特別会計予算」について申し上げます。予算総額2億5,220万円を措置し、疾病の早期治療、重症化防止のために人間ドックの助成の費用が計上されており、委員からの人間ドック対象者の選定方法について質疑があり、町の広報紙で希望者を募集し、オーパールの補正でも対応したいとの答弁でした。また、平成25年4月以降の新制度創設に伴う周知等、地域住民の方々に混乱を招くことがないよう適切な事務処理に努めるという説明がありました。

議案第15号については、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。



予算審査中の文教厚生常任委員会



坂本議員

水俣病被害者特別措置法 について！

質

水俣病被害者救済特別措置法について、

昨年5月から始まり2ヶ月で熊本県は61%、鹿児島県は22%の被害者手帳の切り替えがあった。この数字の違いは、申請すると手帳まで取り上げられるという熊本県知事の発言に不安を感じ、手帳の交換のみを選択されたという数字である。そこで再度、公的検診を受ける機会を与えて欲しいと希望するがいかか。

答

住民生活課長

現時点での救済方針では、再度一時金の申請は出来ない。それは方針の中に、自分から選択したことになっているから。また水俣病問題はすべて県であり、1町でこれを覆すことは極めて困難である。

学校教育環境などの充実について

質

①これまで町内小中学校で、熱中症など事故は起きていないか。

②すべての教室にエアコン設置の要望があるかどうか。

③各学校へ学校図書司書を配置する考えはないか。

④公共施設のトイレを洋式にする考えは、また今後の計画は。

答

教育課長

①熱中症については軽度のめまい、吐き気が発生しているが、すべて運動中。②エアコンは職員室、保健室、相談室に設置している。各教室には、日さしや扇風機で対応しており計画はない。③学校図書館司書については、町費負担で校務員を配置し対応しており、設置の予定はない。④小中学校のトイレの洋式化は、部分的に順次進めていて23年度にすべて完了する予定。

答

総務課長

町内の公共施設のトイレはほとんど洋式になっている。要望があった時は、利用状況により設置する。

TPP(環太平洋連携協定)について

質

TPP環太平洋連携協定に参加した場合、町の農林水産、経済財政にどんな影響があるか、町の試算を尋ねたい。

答

農林水産課長

平成21年度の販売価格をもとに米については8,407万円が804万円に、畜産が13億4,430万円が3億1,100万円に柑類は18億2,180万円が16億5,700万円、総額の32億6,850万円が20億9,800万円程で概ね65%程度になり、米と畜産に



トイレの洋式化

質

鳥獣被害対策について

①デコボンや柑橘類に対するヒヨドリや雪による被害状況は、また何らかの損害補償は出来ないか。
②シカやその他の鳥獣被害対策について、防鳥ネットや電気柵などの援助が必要だと思いがどうか。

答

町長

個々の被害を正確に推定出来ないで、町が補償することとは困難。JA等関係機関が防鳥ネットなど防止の検討がされており、これに対する支援は可能。猟友会や電気柵設置事業、罟猟免許取得等幅広く支援を行っている。国の交付金活用の事業も実施している。

一般質問



川尻議員

漁業振興対策について！

質

近年、漁獲高の減少や価格の低迷で漁業者の生活不安は高まっている。町長は、本町の漁業の現状をどう認識してその振興策をどう講ずる考えか。

答 町長

この20年で、35%の水揚げ高が減少しており、漁場環境の悪化等が要因であると考えている。

また、正組合員が半減し、後継者の確保も課題であると認識している。

質

町漁協とも協議して、漁獲高の減少の原因・対策・特に火共第3号共同漁業権行使規則の見直し等、県の指導、助言、そして協力を得て、具体的振興策を真剣に検討すべき時期であると思うが、町長の考えはどうか。

答 町長

漁業資源の確保のために、アマモ場育成、各種稚魚の放流事業などは継続的に実施していく。昨年からクマモト・オイスターの試験養殖に取り組んでいる。また、23年度から農・林・水まちづくり支援事業を活用し、海藻の一種であるアカモクの商品化の支援を行う。

また、漁業権行使規則（操業期間、操業区域、行使方法）の見直しについては、漁業調整委員会で、色々と調整を図っているが、大変利害が絡む難しい問題である。



アマモ植栽の実施

公の施設の指定管理者制度導入の成果と課題は！

質

公の施設の指定管理者制度を導入して4年が経過したが、その具体的な成果を町長はどのように受け止めているのか。

答 町長

現在、指定管理者制度を導入している施設の管理運営は、管理者自身、最大限の努力を行っており、利便性の向上が図られていると考えている。23年度に指定期間が満了するので、24年度以降望ましい管理のあり方を十分検討し、議会にも相談し方向を決める。

質

公の施設の中には、その実態からみて、むしろ廃止して民間企業やNPO法人等に管理委託なり運営させるのが望ましい施設があるのではないかと。町長の考えはどうか。

答 町長

管理者に譲渡すべき施設も含め検討を進めていきたい。



芦北町薩摩街道佐敷宿交流館

一般質問



寺本議員

町有財産の管理状況は どうなっているのか！

質 現在の管理状況は、どうなっているのか。

答 町長

行政財産、普通財産ともに、健全かつ効率的な運用に努めている。

答 総務課長

22年当初において、山林を含む土地の面積が約992.6ヘクタール。建物面積が約15万平方メートルで、財産の有効活用のため、貸し付けを行っている土地が51件、建物が10件となっている。

質 遊休施設は、いくつあるか。

答 町長

現在、遊休施設は1ヶ所である。

質

旧国民年金保養センターの現在までの取り組みと今後の再利用計画は、どう考えているのか。

答 町長

宿泊施設として有効活用を図るべく、県内外の各企業に働きかけ、誘致を図ってきたが、国内の景気、経済の悪化で、誘致までいたっていない状況である。

質

みかんの家の今後の利用計画はあるか。

答 商工観光課長

イベントの会議、民間への貸し付け、研修施設として活用を図る。

農業振興について

質

農業を支える後継者、あるいは退職後就農者への育成対策はどのように考えているか。

答 町長

農業大学校や果樹試験場などで研修される後継者に対しては、研修に要する費用の一部を支援するなどの対策を行っている。また、農業分野における雇用機会の創出を図り、新規就農へつなげていくことを目的に、地域農業担い手育成支援事業を計画している。

質

今冬の寒波によるみかん（デコポン・甘夏）への低温寒風被害果に対する救済策は考えているか。

答 町長

被害量が出荷実績から農家ごとに把握できるので、何ら



御立岬公園の「みかんの家」

児童・生徒のスポーツクラブ活動に対する体育施設の使用料について

質

スポーツの振興による町づくり、児童生徒の競技力の向上と育成強化の観点から、公平公正に施設を利用してもらう具体的な方策は考えていないか。

答 教育長

現在、17のクラブが活動しているが、町営の体育施設を使用せざるを得ないクラブが3クラブある。17のクラブが公平・公正に施設を利用し、整合性を保つために、町営体育施設を利用する場合は、相当分を育成費補助として助成していく方向で考えている。

一般質問



草野議員

県道芦北・球磨線の災害復旧工事の進捗と関連対策は！

質

昨年6月29日の大雨により、崖崩れの災害が発生し、現在の片側交互通行が出来るようになるまで大変不便を強いられました。県の工事であるが、町民にとって重要な道路であり早期の完全復旧を皆が望んでいる。町として県にどのような対策対応をして来たか。

答 町長

本災害の最重要対策は安全な通行の確保であり、そのことを芦北地域振興局に対し、早期復旧を幾度となく強く要望して来た。



片側交互通行の芦北球磨線

答 建設課長

早期の着工、復旧と併せて、全面通行止めの影響を少なくするため、夜間作業などを要望した結果、二次災害の危険性も認識の上、夜間作業や、重機の遠隔操作による作業など、できる限りの努力をしてもらった。

質 どのような工法で行うのか。

答 建設課長

吹付法枠工と、アンカー工法を併用したものである。

質 完全復旧はいつ頃の予定か。

答 建設課長

3月中旬に契約見込みで、工期は7カ月であるが、東北地方の災害復旧工事が急がれ、資材確保が懸念される。

質 完全復旧までの間の交通制限は。

答 建設課長

安全確保のため、防護柵は撤去しない。昼夜片側通行になる。

質 迂回路として、白木松生線、庵の山線の改良予定はあるか、あるとすればどんな方法か。

答 建設課長

町道、白木松生線は、1.5車線道路への改良を計画している。23年度は耕作されていない農地の取得を考えている。庵の山線は維持補修で対応したい。

質 用地の面積はどれくらいか。今後の計画、予算などについて、町長の考えは。

の考えは。

答 町長

両地域を結ぶ道路だけでなく、広く周辺地域にも効果のある大事な道路と位置付けて今後も計画していく。

答 建設課長

面積は5,700平方メートル、延長は1キロメートルで、金額は1,160万円を計上している。



町道白木松生線

東日本大震災で亡くなられた方々の御冥福をお祈りし 被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます

議会のうごき

- 2月 1日 熊本県町村議会議長会定期総会
- 14日 鹿児島県瀬戸内町議会より視察
- 15日 城南ブロック消防広域化協議会
- 28日 議会運営委員会
- 〃 全員協議会
- 3月 4日 議会定例会(議案審議)
- 7日 各常任委員会(～9日)
- 14日 各中学校卒業式
- 16日 水俣・芦北地域振興財団理事会
- 17日 議会定例会(一般質問)
- 〃 全員協議会
- 18日 議会定例会(最終日)
- 23日 各小学校卒業式
- 25日 広報特別委員会

全国及び県議長会表彰



代表で表彰を受ける藤井議長

熊本県町村議会議長会の定期総会が2月1日に開催され、芦北町議会から藤井議長が出席し、永年在職者の代表として表彰を受けた。

この表彰は、町村議会議員として、15年以上在職者を対象として表彰するもので、芦北町議員では、議員歴15年以上の全国表彰が川尻議員、議員歴23年以上の県議長会表彰が藤井議長、寺本副議長、水口議員、議員歴15年以上の県議長会の表彰を川尻議員がそれぞれ受賞した。

今後の議会活動を更に期待したい。

傍聴に来てください。



次回は6月中旬の予定です。
傍聴は、ルールさえ守っていただければ誰でもできます。



水口議員 藤井議長 寺本議員 川尻議員

表彰を受けた4名の議員

議会広報特別委員会

	委員	委員長	委員	委員長
〃	〃	〃	〃	〃
林田	元山	宮尾	川尻	平松
耀宏	秀志	秀行	成美	洋一
				道則

震災発生後、被災地にとっては、支援物資と同様に義援金が最も有効な支援になるとの情報に、国内のみならず、世界中から義援金が寄せられています。被災者には未だに届いていないという報道がなされています。

議会を含め、町民の皆さんの思いを込めた義援金も、一日でも早く被災者や避難生活をされている方々に届き役立ってくれることを願うばかりです。(元山)

編集後記

東日本大震災の発生から2ヶ月が経過しましたが(5月11日現在)、未だに避難生活を余儀なくされている人々が11万7,000人を超える状況にあり、田浦中学校で同級生だった友人もその一人に含まれています。

